



2025年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年11月8日

上場会社名 株式会社 きちりホールディングス
コード番号 3082 URL <https://www.kichiri.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO兼COO (氏名) 平川 昌紀

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 葛原 昭

TEL 06-6262-3456

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第1四半期の連結業績(2024年7月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	3,638	11.5	117	29.9	111	561.9	67	
2024年6月期第1四半期	3,264	45.4	168		16		32	

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 74百万円 (%) 2024年6月期第1四半期 36百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	5.99	5.89
2024年6月期第1四半期	3.25	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	7,063	1,856	25.1
2024年6月期	7,541	1,839	23.3

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 1,775百万円 2024年6月期 1,758百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年6月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期		2.50		5.00	7.50
2025年6月期(予想)		2.50		5.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	9.1	900	14.7	850	90.8	450	75.4	39.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年6月期1Q	11,324,600 株	2024年6月期	11,324,600 株
期末自己株式数	2025年6月期1Q	23 株	2024年6月期	23 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年6月期1Q	11,324,577 株	2024年6月期1Q	10,124,577 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進展したことに加え、雇用や所得環境の改善により、緩やかな回復の動きがみられました。しかしながら、先行きが懸念される対外情勢に加え、エネルギーや原材料価格の高騰、物価の上昇など懸念材料も多く、景気の先行きは不透明なまま推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、3,638百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益117百万円（前年同期比29.9%減）、経常利益111百万円（前年同期比561.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益67百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失32百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分及び名称の変更をしており、前年同四半期との比較・分析は変更後の区分及び名称に基づいて記載しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。

①飲食事業

当飲食業界におきましても、経済活動の正常化に伴う消費者の外出需要の増加に加え、インバウンド需要もあり回復の傾向が続いております。一方で、人材不足や食材費等の価格高騰は厳しさを増しており、事業環境は引き続き厳しい状況です。

このような状況の中、当社グループは、KICHIRI業態・いしがまやハンバーグ業態・韓国料理業態等、あらゆる立地に対応した様々な業態を保有しており、トレンドを的確に捉える高い業態開発力を持っています。また、従業員一人ひとりが、当社グループの企業理念である「大好きがいっぱい」を表現し、当社グループ独自の“おもてなし”を提供することで競合他社との差別化を図ってまいります。

これらの結果、売上高は3,565百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益は124百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

②DXコンサルティング事業

DXコンサルティング事業については、当社がこれまで培ってきたプロデュース力やコンサルティング力を活かして多種多様な分野におけるブランドホルダーとのコラボレーションを実現することで新たな顧客価値を創造し、また人々の働き方やライフスタイルの変化から生まれる様々な課題を新しいテクノロジーによって解決するDXについても積極的に推進しております。このように事業を複数展開する中、DXコンサルティング事業で培ったノウハウが、日本全体の活力向上を目指す地方創生に寄与できると考え、2023年4月より、地方創生事業を行っております。

前第1四半期連結累計期間において2023年10月からの制度変更を前にして、多くの寄付者が、旧制度下で寄付を行うことでより多くの控除を受けられることを企図し、2023年9月に寄付を駆け込みで行う傾向が生じて一時的に需要が急増しました。その結果、当第1四半期の売上高は73百万円（前年同期比41.0%減）、営業損失は6百万円（前年同期は営業利益64百万円）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は7,063百万円となり、前連結会計年度末と比較して477百万円減少しております。

流動資産合計は3,737百万円となり、前連結会計年度末と比較して532百万円減少しております。減少の主な要因は、現金及び預金が441百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産合計は3,325百万円となり、前連結会計年度末と比較して54百万円増加しております。増加の主な要因は、有形固定資産が94百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は5,206百万円となり、前連結会計年度末と比較して494百万円減少しております。

流動負債合計は2,249百万円となり、前連結会計年度末と比較して282百万円減少しております。減少の主な要因は、未払法人税等が81百万円減少、未払消費税等が116百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債合計は2,957百万円となり、前連結会計年度末と比較して212百万円減少しております。減少の主な要因は、長期借入金が203百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,856百万円となり、前連結会計年度末と比べ16百万円増加しております。増加の主な要因は、配当により56百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を67百万円計上したことで利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年8月13日公表の「2024年6月期決算短信」に記載のとおり、業績予想は修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,983,497	2,542,198
売掛金	484,153	522,007
原材料及び貯蔵品	104,475	108,889
未収入金	68,261	110,017
その他	629,860	454,345
流動資産合計	4,270,249	3,737,458
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,397,565	1,484,305
その他（純額）	373,584	381,431
有形固定資産合計	1,771,149	1,865,737
無形固定資産		
のれん	36,950	33,768
その他	60,218	53,773
無形固定資産合計	97,168	87,541
投資その他の資産		
投資有価証券	117,412	113,579
差入保証金	879,644	879,733
繰延税金資産	298,638	270,791
関係会社長期貸付金	100,000	100,000
その他	7,913	9,379
貸倒引当金	△777	△776
投資その他の資産合計	1,402,830	1,372,708
固定資産合計	3,271,149	3,325,988
資産合計	7,541,398	7,063,446
負債の部		
流動負債		
買掛金	354,987	363,861
1年内返済予定の長期借入金	775,397	775,397
未払金	376,114	359,170
未払法人税等	106,887	25,490
賞与引当金	—	37,326
株主優待引当金	28,047	21,608
その他	890,141	666,484
流動負債合計	2,531,574	2,249,338
固定負債		
長期借入金	2,991,027	2,787,553
資産除去債務	150,749	150,777
その他	28,250	19,320
固定負債合計	3,170,027	2,957,651
負債合計	5,701,602	5,206,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,684	714,684
資本剰余金	1,023,908	1,023,908
利益剰余金	22,699	33,893
自己株式	△9	△9
株主資本合計	1,761,283	1,772,476
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,619	2,847
その他の包括利益累計額合計	△2,619	2,847
新株予約権	36,666	37,145
非支配株主持分	44,465	43,987
純資産合計	1,839,796	1,856,456
負債純資産合計	7,541,398	7,063,446

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	3,264,410	3,638,826
売上原価	926,545	1,057,286
売上総利益	2,337,865	2,581,540
販売費及び一般管理費	2,169,734	2,463,608
営業利益	168,131	117,932
営業外収益		
受取利息	69	140
その他	373	4,355
営業外収益合計	443	4,496
営業外費用		
支払利息	5,644	6,350
支払手数料	519	401
暗号資産評価損	133,111	—
その他	12,422	3,963
営業外費用合計	151,697	10,715
経常利益	16,877	111,713
特別利益		
子会社清算益	—	1,283
特別利益合計	—	1,283
税金等調整前四半期純利益	16,877	112,996
法人税、住民税及び事業税	25,259	18,521
法人税等調整額	33,164	27,846
法人税等合計	58,424	46,368
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△41,546	66,628
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,671	△1,188
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△32,875	67,816

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△41,546	66,628
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,330	7,627
その他の包括利益合計	5,330	7,627
四半期包括利益	△36,216	74,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,047	73,174
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,168	1,081

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期損益計算書計上額 (注)
	飲食事業	D X コンサルティ ング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,139,972	124,438	3,264,410	—	3,264,410
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	8,570	8,570	△8,570	—
計	3,139,972	133,008	3,272,981	△8,570	3,264,410
セグメント利益	103,407	64,723	168,131	—	168,131

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年7月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期損益計算書計上額 (注)
	飲食事業	D X コンサルティ ング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,565,444	73,381	3,638,826	—	3,638,826
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	12,954	12,954	△12,954	—
計	3,565,444	86,336	3,651,781	△12,954	3,638,826
セグメント利益又はセ グメント損失 (△)	124,809	△6,877	117,932	—	117,932

(注) セグメント利益又はセグメント損失 (△) は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当社グループの今後の事業展開、経営資源配分、管理体制の実態等の観点から報告セグメントについて検討した結果、当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に区分していたフランチャイズ事業を「飲食事業」に含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(報告セグメントの名称変更)

当第1四半期連結会計期間より、従来の「プラットフォームシェアリング事業」を「D X コンサルティング事業」に名称変更しております。当該報告セグメントの名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	70,601千円	80,205千円
のれんの償却額	3,181千円	3,181千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。